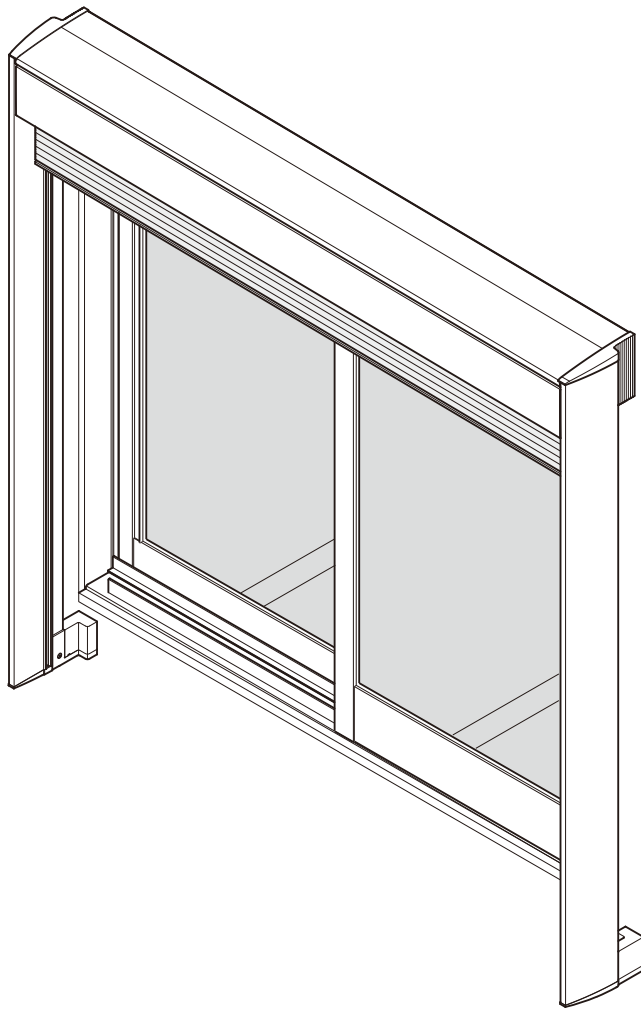


外付ブラインド EB

取扱い説明書



ご使用にあたって

この説明書では、お施主さまが商品を安全に正しくご使用いただくための取扱い方法やお手入れ方法などの重要な内容を記載しております。

ご留意いただくとともに、大切に保管してください。

目次

■ 重要なお知らせ	1
■ 警告用語の種類と意味	1
■ 電池について注意していただきたいこと	2
危険	2
警告	2
注意	2
■ 特に注意していただきたいこと	2~4
注意	2
お願い	3・4
ご使用にあたっての留意事項	4
■ 各部のなまえとはたらき	5
■ リモコンのなまえとはたらき	6
リモコン	6
■ 操作のしかた	6
リモコンの操作のしかた	6
■ 追加リモコンの登録と削除	7
リモコンの追加登録のしかた	7
追加リモコンの削除のしかた	7
■ 電池交換のしかた	8
リモコンの電池交換のしかた	8
■ お気に入り位置について	9
お気に入り位置の登録のしかた	9
お気に入り位置の操作のしかた	9
お気に入り位置登録解除のしかた	9
■ 風力・陽光センサーについて	10
風力・陽光センサーの設定のしかた	10
陽光センサーのON/OFFのしかた	10
■ 点検とお手入れ	11
点検	11
お手入れ	11
■ 外付ブラインドが動かない場合	12
■ 商品保証について	13

重要なお知らせ

ご使用の前に

●安全のために、必ずお守りください。

「外付ブラインドEB」のご使用およびお手入れを行う場合は、必ずこの取扱い説明書にしたがってください。

なお、この取扱い説明書にしたがわず、乱用又は誤用によって、ケガおよび損害が発生した場合は、当社およびその販売会社に責任はないものといたします。




- 1.この取扱い説明書の記載事項の他にも、あらゆる危険が想定されます。したがって、「外付ブラインドEB」のご使用およびお手入れの際は、この取扱い説明書の記載事項に限らず、安全対策に関して十分な配慮が必要です。
- 2.この取扱い説明書は著作権を有し、その権利は留保されています。
- 3.商品のお問い合わせについては、下記の窓口までご連絡ください。

問い合わせ内容	連絡先窓口	TEL
商品全般	お客さま相談センター	☎ 0120-126-001
修理のご依頼	LIXIL修理受付センター	☎ 0120-413-433

警告用語の種類と意味

※この章では、「外付ブラインドEB」を使用する場合に守るべき安全事項を説明しています。

●この取扱い説明書では、危険度の高さ（又は事故の大きさ）にしたがって、次の4段階に分類しています。以下の警告用語が持つ意味をよく理解し、本書の内容（指示）にしたがってください。

警告用語	意味
	取扱いを誤った場合に、使用者などが死亡又は、重傷を負う危険が切迫して生じることが想定されます。
	取扱いを誤った場合に、使用者などが死亡又は、重傷を負う危険が想定されます。
	取扱いを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。
お願い	特に注意を促したり強調したい情報で、指示に従わないと使用者などが思わぬケガをするおそれや、機器の損傷・故障等につながる場合があります。

電池について注意していただきたいこと

電池の使い方を誤ると、電池が発熱、液漏れ、破裂し、ケガや火災、周囲を汚損する原因になりますので、下記項目をお守りください。

⚠ 危険

- 電池は乳幼児の手の届く所に置かないでください。電池を飲み込んだ場合は直ちに取出す必要がありますので、すぐに医師に連絡し、指示を受けてください。電池を飲み込むと、化学やけど、粘膜組織の貫通など、最悪の場合は死に至ることがあります。

⚠ 警告

- 電池の液が目に入ったときは、こすらずにすぐに水道水などの多量のきれいな水で十分に洗った後、医師の治療を受けてください。
- 電池を火の中に入れてたり、加熱、分解しないでください。
- 電池の(+)と(-)を逆にして使用しないでください。
- 新しい電池と使用した電池や古い電池、銘柄や種類の異なる電池を混ぜて使用しないでください。

⚠ 注意

- 電池を落下させたり、強い衝撃を与えたり、変形させたりしないでください。
- 電池を水などで濡らさないでください。
- 電池は、直射日光・高温・高湿の場所を避けて使用、保管してください。

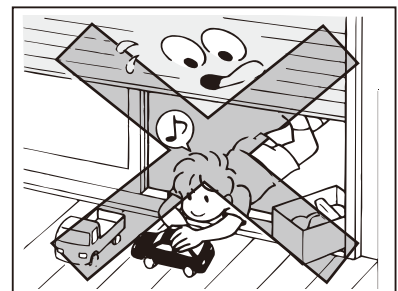
特に注意していただきたいこと

(安全のため、必ずお守りください)

※ご使用の際は商品に貼ってあるラベルもよくお読みの上、正しくご使用ください。

⚠ 注意

- 開閉の際には周囲に人・物がいないことを確かめてから開閉してください。挟まれてケガをしたり、物を挟んだりするおそれがあります。挟まれた場合は、ただちに停止スイッチを押して外付ブラインドを停止させ、開スイッチを押して外付ブラインドを巻き上げてから取除いてください。



⚠ 注意

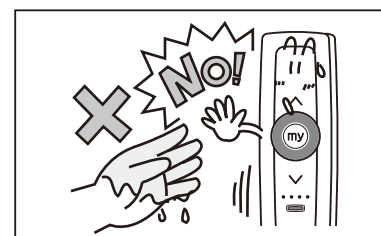
- 外付ブラインドにぶら下がったり、物を吊り下げたりしないでください。ケガや破損の原因になります。
- 外付ブラインドに寄りかかったり、はしごを立てかけたりしないでください。ケガや破損の原因になります。
- 外付ブラインド全閉時に、スラット、ボトムスラットの上に乗ったり、体重をかけたりしないでください。思わぬケガをしたり、作動不良になるおそれがあります。
- 開閉中は開閉位置に顔や手を出さないでください。挟まれてケガをするおそれがあります。
- 開閉中はスラットとガイドレールのすき間に手を入れないでください。スラット端部と接触し、ケガをするおそれがあります。
- 改造しないでください。特にモーターおよびリモコンの改造・配線の変更は事故・故障の原因となります。
- 点検口を開けて内部の部品を触らないでください。思わぬケガをしたり、作動不良の原因になったりするおそれがあります。
- 「外付ブラインド」は、電波を利用する機器ですので、心臓ペースメーカーなどをご使用の方は念のため医療機器メーカー様にご相談ください。

お願い

- ご使用前に点検して異常があれば操作を中止し、工務店様・販売店様または当社お客さま相談センターにお問い合わせください。人身事故や物損事故につながるおそれがあります。
- 製品の設置や修理は必ず専門業者に依頼してください。人身事故や物損事故につながるおそれがあります。
- 強風時（台風時／風速13m/s以上）には外付ブラインドは上げてください。故障や破損の原因になります。
- 外に開く窓、ガラスルーバー窓、折れ戸（フォールディング）、ドアに外付ブラインドを取り付けた場合、必ず窓・ドアが完全に閉まっていることを確認してから外付ブラインドを操作してください。また、外付ブラインドを全開にした時以外は窓・ドアを開閉しないでください。サッシ・ドア・外付ブラインドの破損の原因になります。
- 短時間で繰り返し開閉しないでください。保護装置がはたらき、一定時間動作が停止することがあります。（故障ではありません）10～15分程度時間をおくと、再び開閉できます。
- 外付ブラインドは少なくとも1カ月に2～3回開閉をしてください。長期間動かさないとスムーズに作動しなくなるおそれがあります。
- 外付ブラインドを無理に引っ張ったり、押し上げたりしないでください。思わぬケガをしたり、テープなどが損傷し外付ブラインドが正常に動かなくなるおそれがあります。
- 外付ブラインドのボックスに、はしごをかけたり、上に乗ったりしないでください。変形および故障、転落や負傷につながります。

お願い

- 外付ブラインドのボックスに雪が30cm以上積もった場合は、必ず取除いてください。変形および故障につながります。また、その際は足場をしっかりと確保して作業してください。転落・負傷するおそれがあります。
 - 外付ブラインドが凍結したときは、必ず溶けてから操作してください。無理な作動は故障や破損の原因になります。
 - お子さまにリモコンを操作させないでください。誤って人・物が挟まれるおそれがあります。
 - 故意に外付ブラインドボックス内に水をかけないでください。電子部品や駆動装置が組込まれていますので、故障の原因になります。
 - ガイドレール内部は常に清掃し、異物等がないようにしてください。誤作動の原因になります。
 - 電波の強い地域では正常に作動しないおそれがあります。あらかじめご了承ください。
 - 極度の電圧変動が起きた場合、外付ブラインドが正常に動かない場合があります。
 - 外付ブラインドのそばで電子レンジや医療機器などの高周波ノイズを発生する機器は使用しないでください。正常に作動しないおそれがあります。
 - 建物の構造により電波がとどかない場合がありますので、必ず動作が確認できる位置で操作を行ってください。
 - お手入れには柔らかい布・スポンジを使用し、金属製ブラシ・金ベラなどを使用しないでください。
 - 洗剤は、必ず中性のものを使用してください。
 - リモコンは濡れた手で操作しないでください。
また、リモコンは直射日光の当たる場所や高温・高湿の場所に置かないでください。
 - 電池交換時に内部に水や異物が入らないように注意してください。故障の原因となります。
 - 電池は、自治体の条例などの定めがある場合には、その条例に従って廃棄してください。
 - 機器内部には精密な部品があります。故障の原因となりますので、本体を開けないでください。
 - 頻繁にリモコンのボタン操作を行わないでください。一時的に送信できなくなりますが、特定小電力無線設備（※）のため故障ではありません。
- ※特定小電力無線について…送信時間に制限があり、送信時間（連続または断続のボタン操作）が5秒に達すると、自動的に2秒間の休止時間が設けられています。ボタン操作を行わない状態が2秒以上経過すると、休止が解除されます。

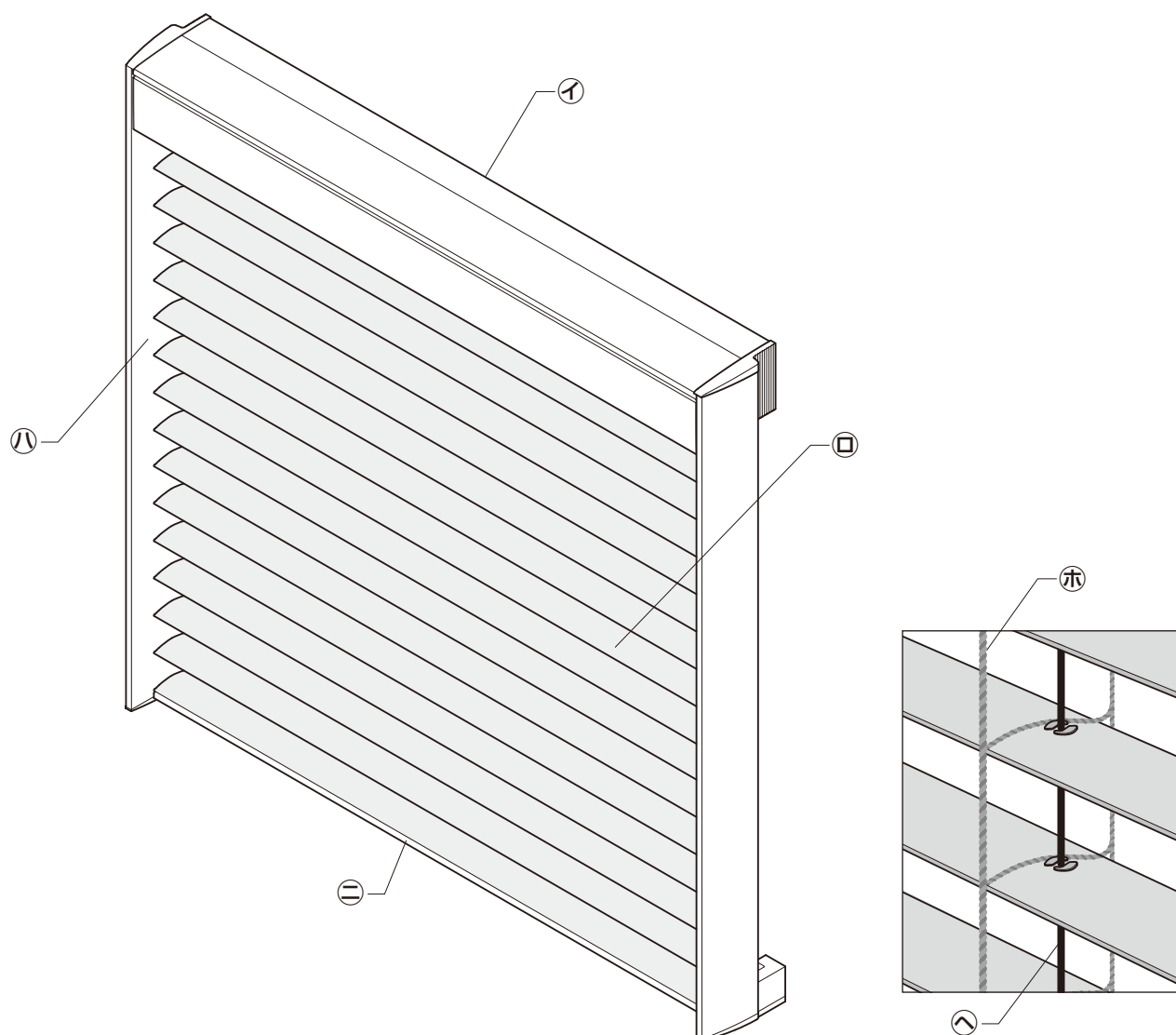


ご使用にあたっての留意事項

- ※外付ブラインドを閉めても各部のすき間から、外からの光が入ることがあります。さらに光をさえぎる場合は、遮光カーテンなどをご使用ください。
- ※外付ブラインドを閉めた状態で、強風によりスラットがバタつき、音がしたりすることがありますが異常ではありません。

各部のなまえとはたらき

※この章では、本体の各部のなまえとはたらきを説明します。



●各部のなまえとはたらき

記号	なまえ	はたらき
㊦	ユニットケース	モーターなどを収納する部分です。モーターなどの点検口です。
㊧	スラット	カーテン部分です。
㊨	ガイドレール	両側にあり、スラットの動きを誘導します。
㊩	ボトムスラット	スラットの最下部の部材です。スラットを安定させる役割です。
㊪	ティルティングテープ	スラットを吊っているテープです。
㊫	リフティングテープ	

リモコンのなまえとはたらき

▲ 注意

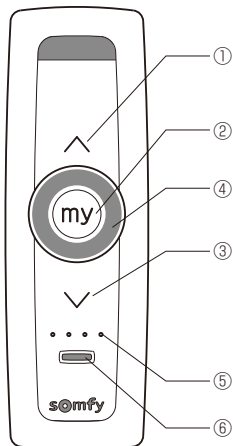
- 「外付ブラインド」は、電波を利用する機器ですので、心臓ペースメーカーなどをご使用の方は念のため医療機器メーカー様にご相談ください。

リモコン

※操作のしかたは、下記「操作のしかた」を参照ください。

●リモコンのなまえとはたらき

■リモコン



番号	なまえ	はたらき
①	開スイッチ	外付ブラインドが上昇します。
②	停止スイッチ	外付ブラインドが停止します。
③	閉スイッチ	外付ブラインドが下降します。
④	コントロールホイール	スラットの角度を調整します。
⑤	送信ランプ (赤)	開・停止・閉スイッチを押している間点滅します。
⑥	チャンネル選択ボタン	チャンネルを選択します。

※付属の電池は短期間で消耗することがあります。

※リモコンのホルダーは両面テープでの貼付けになります。壁に貼付けた際は、引っ掛けて壁紙を傷つけるおそれがありますので注意してください。

操作のしかた

※この章では、リモコンの操作のしかたについて説明しています。

▲ 注意

- 開閉の際には周囲に人・物がいないことを確かめてから開閉してください。挟まれてケガをしたり、物を挟んだりするおそれがあります。挟まれた場合は、ただちに停止スイッチを押して外付ブラインドを停止させ、開スイッチを押して外付ブラインドを巻き上げてから取除いてください。
- 開閉中は開閉位置に顔や手を出さないでください。挟まれてケガをするおそれがあります。

リモコンの操作のしかた

【開ける場合】

- 開スイッチ①を押してください。
外付ブラインドが上昇し、開スイッチ①を押している間、送信ランプ (赤) ⑤が点滅します。

【スラットの角度を変える場合】

- コントロールホイール④を回してください。

【閉める場合】

- 閉スイッチ③を押してください。
外付ブラインドが下降し、閉スイッチ③を押している間、送信ランプ (赤) ⑤が点滅します。

【途中で止める場合】

- 停止スイッチ②を押してください。
外付ブラインドが途中停止し、停止スイッチ②を押している間、送信ランプ (赤) ⑤が点滅します。

追加リモコンの登録と削除

※この章では、リモコンの追加登録のしかたについて説明します。

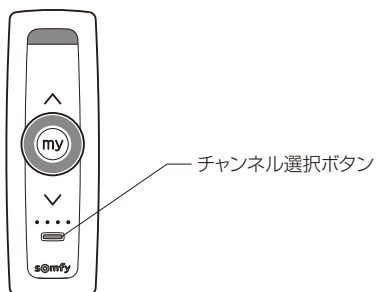
リモコンの追加登録のしかた

1棟内に複数の外付ブラインドがありリモコンをまとめたい場合、下記手順に従いリモコンの追加登録を行ってください。

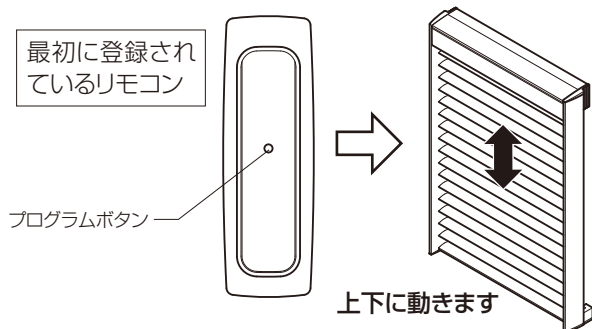
※通電状態で行ってください。

※外付ブラインドを中間位置まで作動させてください。

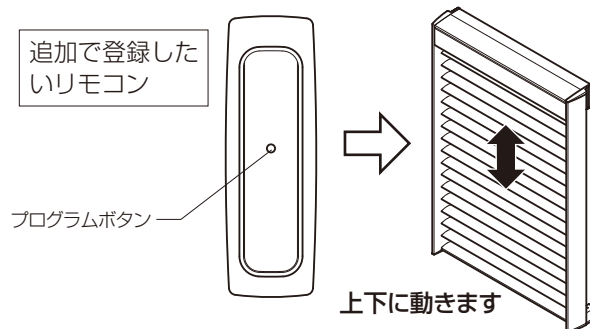
①登録したいリモコンのチャンネル選択ボタンを押して、チャンネルを選択します。



②最初に登録されているリモコンのプログラムボタンを外付ブラインドが小さく上下に動くまで(約2秒)押します。



③追加で登録したいリモコンのプログラムボタンを1度短く(0.5秒)押します。外付ブラインドが小さく上下に動きません。登録完了です。



※外付ブラインド1台ずつの登録が必要となります。登録するチャンネル数に合わせて上記の手順を繰り返し行ってください。

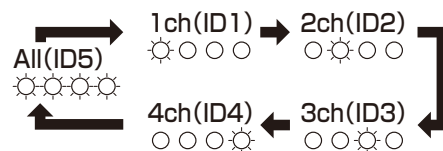
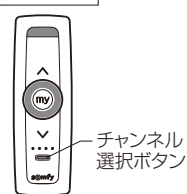
■チャンネルの選択方法

チャンネル選択ボタンを押してください。現在選択されているチャンネル(ID)が約5秒間早い間隔で点滅します。この点滅をしている間にチャンネル選択ボタンを押すとチャンネル(ID)が切り替わります。

※リモコンは各チャンネル(ID1～ID5)に登録した外付ブラインドを操作することが可能です。

※出荷時、チャンネルは1chに設定されています。設定されているチャンネル以外では動きません。

リモコン



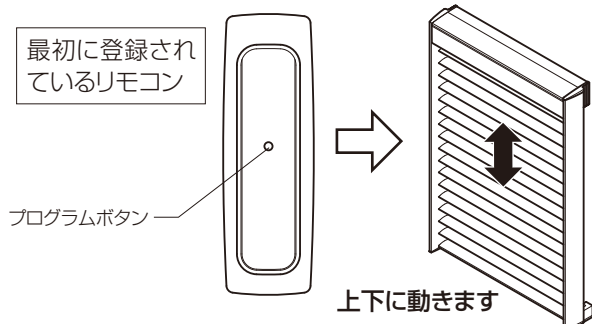
追加リモコンの削除のしかた

※リモコンを追加で複数台登録している場合のリモコンの削除のしかたです。

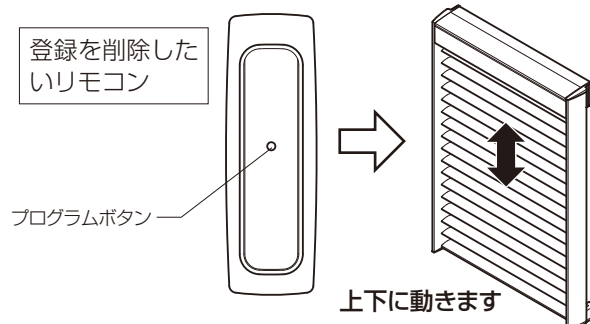
※リモコンが複数台登録されている場合は、下記の①、②の手順を繰り返し行なってください。

※外付ブラインドを中間位置まで作動させてください。

①最初に登録されているリモコンのプログラムボタンを外付ブラインドが小さく上下に動くまで(約2秒)押します。



②登録を削除したいリモコンのプログラムボタンを一度短く押します。その後、外付ブラインドが小さく上下に動きません。



電池交換のしかた

※この章では、電池交換のしかたについて説明しています。

リモコンの電池交換のしかた

■電池交換時期

※リモコンの反応が悪い場合、電池交換時期が近づいています。

■使用電池

※リチウム電池：CR2430またはCR2032をご使用ください。

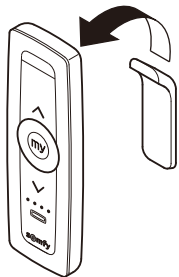
※電池寿命の目安（1日4回、1回2秒間スイッチを押した場合）

CR2430…約2年

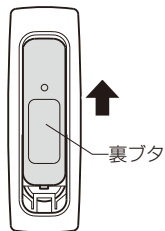
CR2032…約1年

■電池の取外し

①リモコンをホルダーから外します。

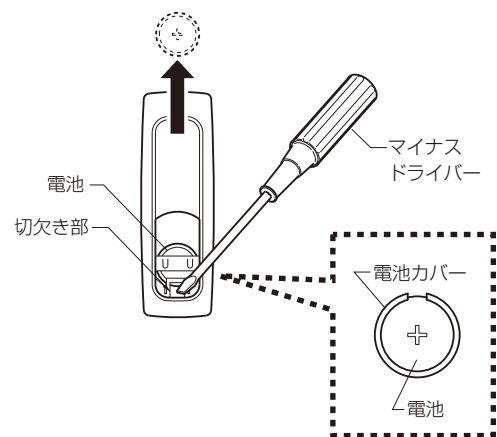


②リモコン本体を裏返します。【リモコン本体裏面】
裏面を裏返します。
リモコンの裏ボタンをスライドさせ、裏ボタンを外します。



③電池を外します。

電池ホルダーの切欠き部にマイナスドライバーなどを差し込み、電池を上方向にスライドさせてください。電池カバーごと電池が外れます。

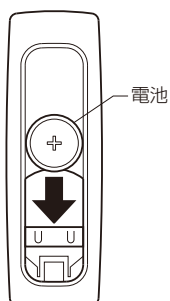


■電池の取付け

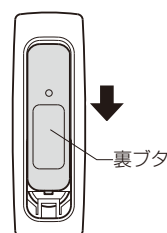
①新しい電池を取付けます。新しい電池に電池カバーを取付けて所定の位置に置き、下方向に押し込んでください。電池が取付けられます。

※下図のようにプラス面を上に入れてください。

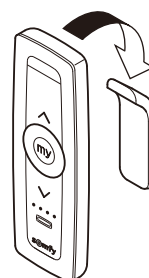
【リモコン本体裏面】



②リモコンの裏ボタンを取付けます。



③リモコンをホルダーに戻します。



お願い

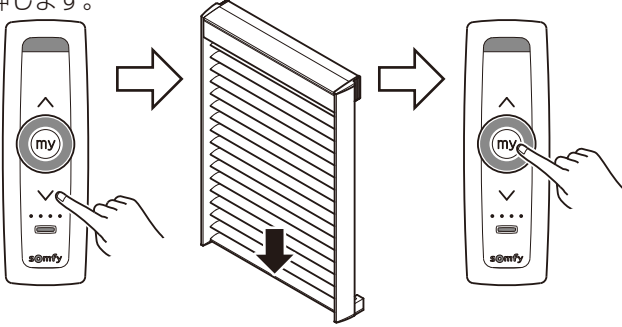
- 電池交換時に内部に水や異物が入らないように注意してください。故障の原因となります。

お気に入り位置について

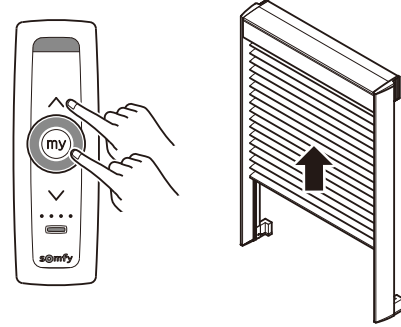
※この章では、お気に入り位置について説明しています。

お気に入り位置の登録のしかた

①リモコンの閉スイッチを押して外付ブラインドを全閉にします。全閉になりましたら、一度停止スイッチを押します。

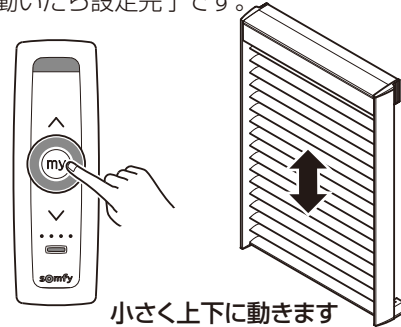


②リモコンの開スイッチと停止スイッチを3秒押しと設定モードに入ります。



③お気に入り位置に設定したい位置に合わせてください。
※スラットの角度をつけた位置をお気に入り位置に設定する場合は下限位置でのみ可能です。コントロールホイールを使用してスラットに角度をつけてください。

④停止スイッチを約2秒押します。外付ブラインドが小さく上下に動いたら設定完了です。

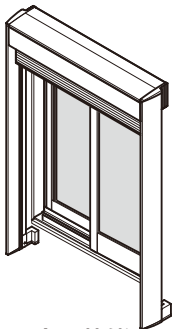


小さく上下に動きます

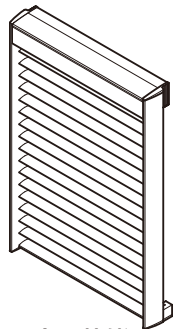
※動かない場合は、再度①から実施してください。

お気に入り位置の操作のしかた

①外付ブラインドが全開状態または全閉状態から停止スイッチを押します。



全開状態



全閉状態

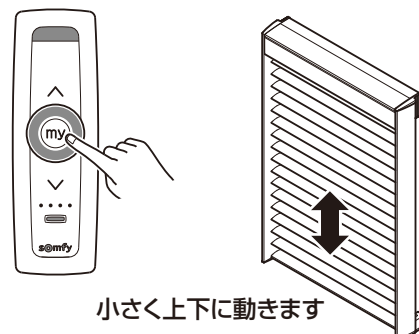
②①の操作後、動かない場合は、再度停止スイッチを押します。設定した位置まで作動します。

※①で全開状態の場合は、一度全閉状態になり3分後に設定した位置まで作動します。

※陽光センサーにて動かす場合も同様です。

お気に入り位置登録解除のしかた

①お気に入り位置操作後に停止スイッチを4秒押します。外付ブラインドが小さく上下に動きます。お気に入り位置の登録解除完了です。



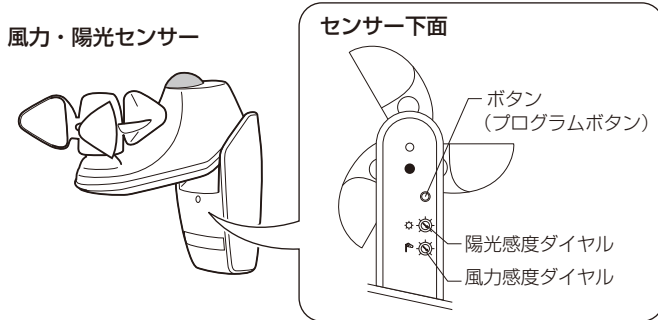
小さく上下に動きます

風力・陽光センサーについて

※この章では、風力・陽光センサーについて説明しています。

風力・陽光センサーの設定のしかた

※風力・陽光センサーはオプション品となります。



■動画

・風力・陽光センサーについて

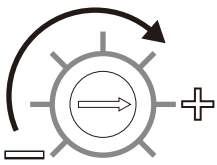


6010959637001

■風力センサーの設定

●設定した風力を検知すると、上限位置まで自動で動きます。

増加する



4目盛を目安に現場状況に合わせて設定してください。

●ダイヤル位置と検知感度

風力感度ダイヤル	風力検知感度 (m/秒)	起こりうる現象
+ (6目盛)	13.0	大枝が動く。電線が鳴る。傘がさしにくい。
5目盛	11.0	
4目盛	9.0	葉のある灌木がゆれはじめる。池や沼の水面に波頭がたつ。
3目盛	7.0	砂埃がたち、紙片が舞い上がる。小枝が動く。
2目盛	4.5	木の葉や細かい小枝がたえず動く。軽く旗が開く。
-(1目盛)	3.0	顔に風を感じる。木の葉が動く。

※表の数値は目安であり、実環境とは異なる場合があります。

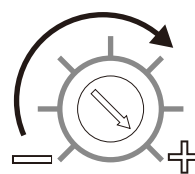
※詳しくは風力・陽光センサー同梱の電気工事説明書を参照してください。

■陽光センサーの設定

●設定した明るさを検知すると登録したお気に入り位置まで自動で動きます。

●設定した明るさより暗くなると下限位置まで自動で動きます。

増加する



季節や地域条件により、お好みの明るさで設定してください。

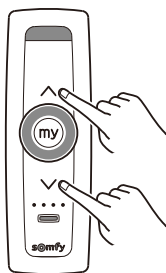
●ダイヤル位置と検知感度

陽光感度ダイヤル	陽光検知感度 (ルクス)	明るさの目安
+ (7目盛)	55,000	晴天の昼間
6目盛	47,000	
5目盛	35,000	
4目盛	28,000	晴天の夕方
3目盛	22,000	曇りの昼間
2目盛	15,000	
-(1目盛)	9,000	

陽光センサーのON/OFFのしかた

■陽光センサーをONにする場合

リモコンの開・閉スイッチを同時に約2秒押します。



ON

■陽光センサーをOFFにする場合

リモコンの開・閉・停止スイッチを同時に約2秒押します。



OFF

※風力センサーは常時ONになります。

点検とお手入れ

※この章では、操作をする場合を守るべき安全事項を説明しています。

点検

- 少なくとも1カ月に2～3回開閉をしてください。長期間動かさないとスムーズに作動しなくなるおそれがあります。
- 安全にご使用いただくため下記の点検を行ってください。
点検を行って、作動不良や異常がありましたら、お買い求めの工務店、販売店又はLIXIL修理受付センターへご連絡ください。

●点検箇所

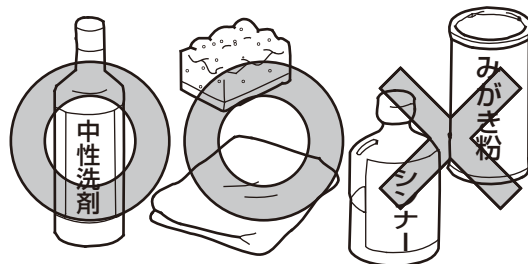
番号	点検部分	点検内容
①	ガイドレール部 スラット部	・作動がスムーズに行えないような傷や曲がりなどの変形・異常な音はないか。 ・取付けにガタがないか
②	テープ	テープ類に損傷、変形などないか。

お手入れ

- 外付ブラインドはアルミニウムで作られています。表面に付いたゴミ・ホコリ・砂・雨水などは、しみ、腐食、作動不良などの原因になりますので定期的に掃除してください。
- ガイドレール内部は常に清掃し、異物等がないようにしてください。作動不良や破損するおそれがあります。
- 長期間、清掃しないままにしておきますと、表面やガイドレール内部に付着した汚れは、しみ、腐食、作動不良などの原因になります。汚れが軽いうちに清掃してください。清掃の目安は、少なくとも月に1回程度です。
特に海岸地帯や交通量の多い道路沿いは、塩分や排気ガスによる汚損が進みやすいので、こまめにお手入れしてください。

お願い

- お手入れには柔らかい布・スポンジを使用し、金属製ブラシ・金ベラなどを使用しないでください。
- 洗剤は、必ず中性のものを使用してください。



- ①表面に付いたゴミ・ホコリ・砂・雨水などを取除いてください。
- ②ガイドレール内部に付いたゴミ・ホコリ・砂・雨水などをふき取ってください。隅の方は、歯ブラシ・洋服ブラシなどで掃除してください。



- ③以下の要領で汚れを落としてください。

〔あまり汚れがひどくない部分〕

- ・ぞうきんで水ぶきした後、からぶきしてください。

〔特に汚れがひどい部分〕

- ・うすめた中性洗剤で汚れを落とし、洗剤が残らないようぞうきんでよく水ぶきした後、からぶきしてください。



外付ブラインドが動かない場合

※ここでは、故障の見分け方および、故障やご使用上でご不明な点の連絡先について説明します。

外付ブラインドが動かない場合、リモコンの停止スイッチを押してから、下表「外付ブラインドが動かない場合」にしたがってください。

外付ブラインドが動かない場合

ここをお調べください	処置のしかた	参照ページ
停電していませんか？	停電が終わるまでお待ちください。	—
ブレーカーが落ちていませんか？	ブレーカーをセットしてください。	—
スイッチは確実に押しましたか？	本書の「 ■操作のしかた 」を参照してください。	P.6
ガイドレールに障害物はありませんか？	障害物を取除いてください。	P.3
ガイドレール・スラットなどが変形していませんか？	変形している場合はただちに使用を中止し、「 ■重要なお知らせ 」の窓口までご連絡ください。	P.1
連続して開閉しませんでしたか？	10～15分程度休ませてから開閉してください。	P.3
選択しているチャンネルが間違っていないですか？	操作したい外付ブラインドのチャンネルを選択してください。	P.7
連続でリモコンを押していませんか？	少し待ってからリモコンを操作してください。	—
リモコンの電池が切れていませんか？	本書の「 ■電池交換のしかた 」を参照して電池交換をしてください。	P.8
外付ブラインドが凍結していませんか？	凍結している場合は、溶けるまで待ってから作動させてください。無理に作動させると故障の原因となります。	P.3
電池の向きを間違えていませんか？	本書の「 ■電池交換のしかた 」を参照して電池の向きを入れかえてください。	P.8
無線機を使っていませんか？	外付ブラインドのそばで無線機は使用しないでください。	—
高周波ノイズの出る物が近くにありませんか？	外付ブラインドのそばで電子レンジや医療機器などの高周波ノイズを発生する機器は使用しないでください。	—

●お問合わせ先については、P.1「**■重要なお知らせ**」を参照してください。



商品保証について

本書は、ここに記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理を行うことをお約束するものです。保証期間中、商品に故障、損傷などの不具合(以下「不具合」といいます)が発生した場合には、お取り扱いの施工店、工務店、販売店又は当社お客さま相談センターにご相談ください。

■ **対象商品** サッシ・ドア商品

■ **保証期間** 施工者よりの引き渡し日(注1・注2)から2年間(電装部品については1年間)

注1)改修工事の場合は、改修部分の工事完了の日とします。

注2)分譲住宅(建売住宅)・分譲マンションの場合は、建築主様への引き渡し日とします。

*ただし、「住宅の品質確保の促進等に関する法律」第2条第1項及び第2項に規定する「新築住宅」に取付けられた商品(同法第94条第1項に定める「雨水の浸入を防止する部分」として同法施行令第5条第2項に該当する部分に限る)からの雨水浸入については10年間とします。

■ **保証内容** 取扱説明書、本体ラベル又はその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に商品そのものに不具合が発生した場合には、下記に例示する免責事項に該当する場合は除き無料修理いたします。

なお、強風雨時に、サッシ下枠に雨水がたまる場合がありますが、これは商品上の特性であり不具合ではありません。不具合といえる雨水浸入は、サッシ下枠を越えて雨水が流れ出たり、あふれ出たりすることです。

■ **免責事項** 保証期間内でも、次の様な場合には有料修理となります。

- ①当社の手配によらない加工、組立て、施工、管理、メンテナンスなどに起因する不具合
(例えば、海砂や急結剤を使用したモルタルによる腐食。中性洗剤以外のクリーニング剤を使用したことによる変色や腐食。工事中の養生不良に起因する変色や腐食など)
- ②お客様の指図による、正規仕様でない特別な仕様にて製作した部分に起因する不具合
(例えば、サッシ・ドアの防犯性能、使い勝手、操作性の低下など)
- ③表示された商品の性能を超えた性能を必要とする場所に取付けられた場合の不具合
- ④建築躯体の変形など商品以外の不具合に起因する商品の不具合
- ⑤商品又は部品の経年変化(使用に伴う消耗、摩耗など)や経年劣化(樹脂部品の変質、変色など)又はこれらに伴うさび、かびなどその他類似の不具合
- ⑥商品周辺の自然環境、住環境などに起因する結露、腐食又はその他の不具合
(例えば、塩害による腐食。大気中の砂塵、煤煙、各種金属粉、亜硫酸ガス、アンモニア、車の排気ガスなどが付着して起きる腐食。ガラスの熱割れ。強化ガラスの自然破損。異常な高温・低温・多湿による不具合など)
- ⑦商品又は部品の材料特性に伴う現象
(例えば木製品の反り、干割れ、色あせ、木目違い、ふし抜け、樹液のにじみ出しなど)
- ⑧天災その他の不可抗力
(例えば、暴風、豪雨、高潮、地震、落雷、洪水、地盤沈下、火災など)による不具合又はこれらによって商品の性能を超える事態が発生した場合の不具合
- ⑨施工当時実用化されていた技術、知識では予測することが不可能な現象又はこれが原因で生じた不具合
- ⑩犬、猫、鳥、鼠などの小動物に起因する不具合
- ⑪引き渡し後の操作誤り、調整不備又は適切な維持管理を行わなかったことによる不具合
(例えば、クレセント・錠などの部品が、使用中にがたついたり異音などが発生し、異常が生じたまま使用し続けたことが原因で発生した傷・破損などの不具合)
- ⑫お客様自身の組立て、取付け、修理、改造(必要部品の取外しを含む)に起因する不具合
- ⑬本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合又は使用目的と異なる使用方法による場合の不具合
- ⑭犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合

*保証期間経過後の修理、交換などは有料とさせていただきます。

*本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お取り扱いの施工店、工務店、販売店又は当社お客さま相談センターにお問い合わせください。

2013年4月

株式会社 LIXIL

会社や商品についての情報のご確認は、LIXIL オフィシャルサイトまで

<https://www.lixil.co.jp/>

※ショールームの所在地、カタログの閲覧・請求、図面・CAD データなどの各種情報は、上記オフィシャルサイトからご確認ください。

商品についてのお問い合わせ・部品のご購入は、お客さま相談センターまで

受付時間/月～金 9:00～18:00 土・日・祝日 9:00～17:00 (ゴールデンウィーク、夏期休暇、年末年始等を除く)

TEL. ☎ 0120-126-001 FAX. 03-3638-8447

- 旭トステム外装株式会社のサイディング材に関する商品相談は
旭トステム外装(株)サービスデスクナビダイヤル TEL.0570-001-117

修理のご依頼は、LIXIL修理受付センターまで

受付時間/月～金 9:00～18:00 (祝日、年末年始、夏期休暇等を除く)

TEL. ☎ 0120-413-433 FAX. ☎ 0120-413-436

<https://www.lixil.co.jp/support/>

安全に関するご注意

ご使用前に「取扱説明書」をよくご覧の上、正しくお使いください。また、取付設置工事は「取付設置説明書・施工説明書」に従ってください。いずれの場合も、取り扱いを誤ると事故や故障の原因となります。

個人情報保護について

当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取り扱いについての詳細は、当社オフィシャルサイトの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

- 商品改良のため、予告なしに仕様の変更を行うことがありますのでご了承ください。

取説番号 MAL-596B | 事業所コード AW87 | 2021.03.22発行

